

【問合せ先】

島根県病害虫防除所 担当：奈良井・澤村
TEL：0853-22-6772
FAX：0853-24-3342
(島根県農業技術センター資源環境研究部病虫科内)

令和3年度 病害虫発生予察情報 特殊報第1号

令和3年10月1日
島根県病害虫防除所

本県において、トビイロシワアリの被害が確認されたので特殊報を発表します。

- 1 病害虫名 トビイロシワアリ
- 2 学名 *Tetramorium tsushimae* Emery
- 3 作物名 キャベツ
- 4 発生経過

令和3年8月に県西部で栽培されているキャベツほ場において、生育不良、萎凋症状を呈する株が認められた。株元の土は盛り上がり（図1）、アリ類が観察された（図3）。株元の盛り上がった土を取り除くと、軸の表皮に食害の跡が見られた（図2, 4）。そこでこれらのアリ類を採集し、農林水産省神戸植物防疫所に同定依頼したところ、9月7日にトビイロシワアリと同定された。

5 国内における発生状況

本種による農作物の被害は昭和60年に福岡県で、その後、千葉県（平成19年）や広島県（平成21年）など20都県で確認されている。被害作物はキャベツ、ブロッコリーなどのアブラナ科作物やジャガイモ、ナス、トマトなどのナス科作物のほか柑橘やアスターなども加害する。

6 形態及び特徴

- 1) 働きアリの体長は2.5mm内外、体色は黒褐色、まれに色の薄い褐色の個体がみられる。西南日本では最普通種の一つである。
- 2) 巣は主に草地に見られ、草本類の根元や石下などに営巣する。多雌性かつ多単性で巣は数万～数十万の大規模なコロニーになる。巣口はクレーター状に盛り上がる。雑食性で、昆虫類や植物の甘露、種子、樹液などを摂食する。被害は株元の土が盛り上がり、地際部の茎や根の表皮が加害され、株が萎凋する。加害の激しい株では枯死することもある。

7 防除対策

- 1) 現在、本種に対して登録のある薬剤はない。
- 2) 深耕やほ場周辺の除草、灌水による巣の破壊など、物理的・耕種的防除に努める。

8 連絡先

島根県病害虫防除所（農業技術センター病虫科：0853-22-6772）

9 参考資料



図1 キャベツの萎凋症状



図2 地際部の被害



図3 トビイロシワアリ



図4 軸の被害